

平成28年(2016年)10～12月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	249,909 円		
前年同期比	実質 0.8%の減少	名目 0.4%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 0.6%の減少		
二人以上の世帯は,	290,432 円		
前年同期比	実質 0.7%の減少	名目 0.3%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.0%の減少		

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	213,336 円		
前年同期比	実質 1.0%の減少	名目 0.6%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.4%の減少		
二人以上の世帯は,	250,070 円		
前年同期比	実質 1.2%の減少	名目 0.8%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 2.0%の減少		

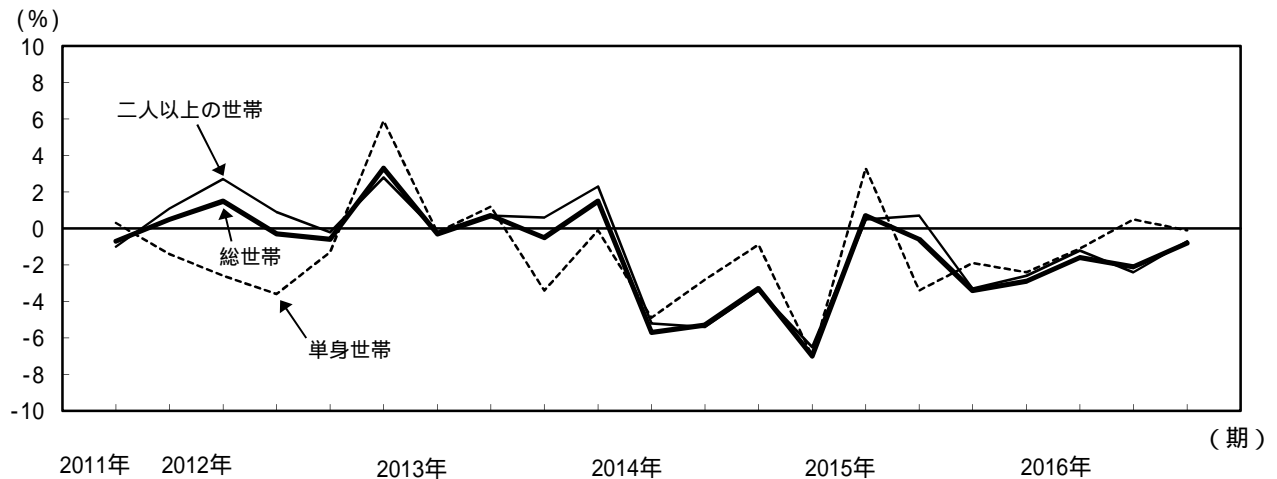
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

< 勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入 >

総世帯は,	540,796 円		
前年同期比	実質 1.2%の減少	名目 0.8%の減少	
二人以上の世帯は,	614,387 円		
前年同期比	実質 1.4%の増加	名目 1.8%の増加	

消費支出の推移

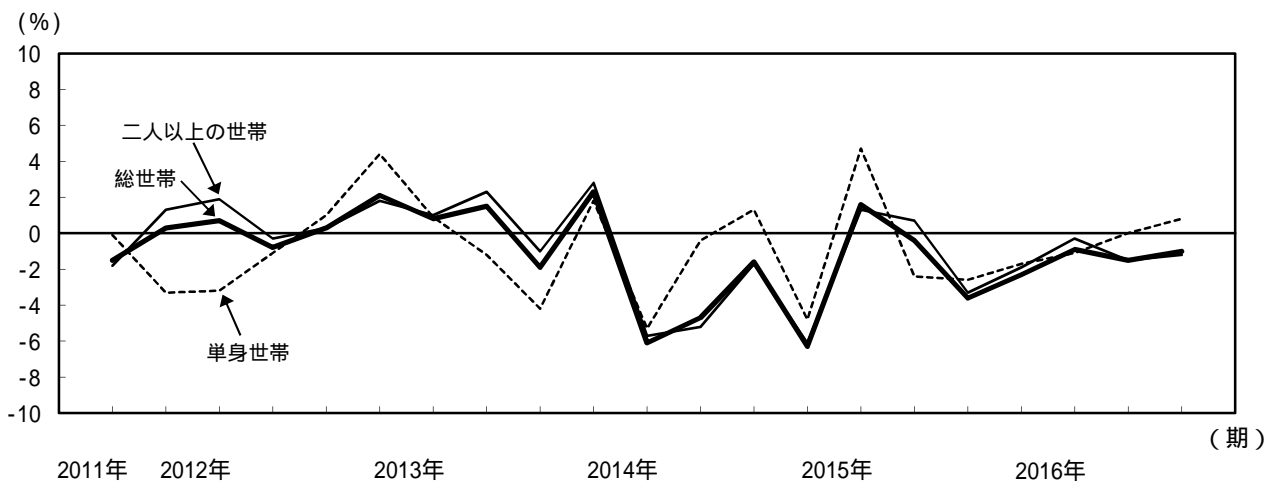
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2013年	2014年				2015年				2016年			
総世帯	-0.5	1.5	-5.7	-5.3	-3.3	-7.0	0.7	-0.6	-3.4	-2.9	-1.6	-2.1	-0.8
二人以上の世帯	0.6	2.3	-5.2	-5.4	-3.4	-6.5	0.5	0.7	-3.3	-2.6	-1.2	-2.4	-0.7
単身世帯	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8	-0.9	-7.0	3.3	-3.4	-1.9	-2.4	-1.1	0.5	-0.1

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移



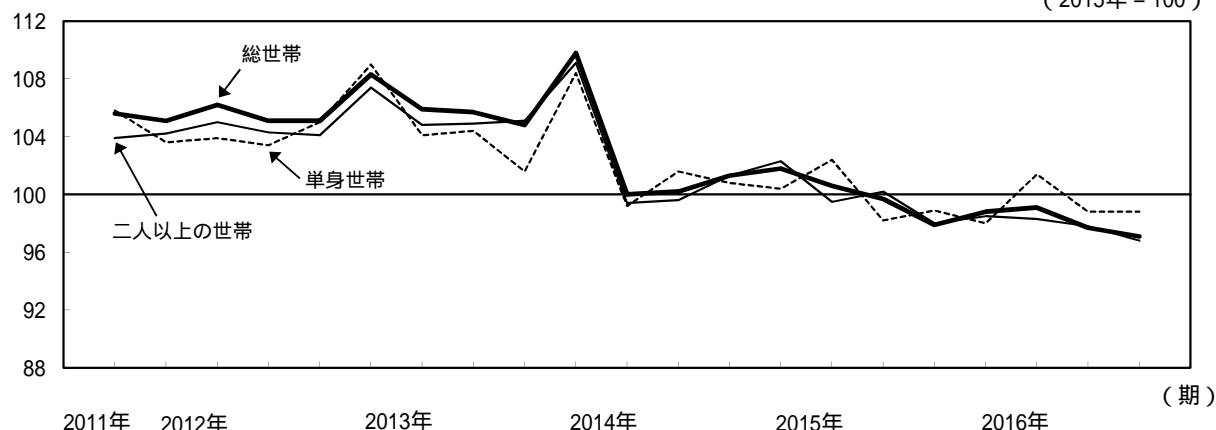
消費支出(除く住居等)	2013年	2014年				2015年				2016年			
総世帯	-1.9	2.3	-6.1	-4.7	-1.6	-6.3	1.6	-0.4	-3.6	-2.3	-0.9	-1.5	-1.0
二人以上の世帯	-1.0	2.8	-5.7	-5.2	-1.7	-6.1	1.3	0.7	-3.3	-1.9	-0.3	-1.5	-1.2
単身世帯	-4.2	1.8	-5.3	-0.4	1.3	-4.8	4.7	-2.4	-2.6	-1.7	-1.1	0.0	0.8

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

（2015年 = 100）



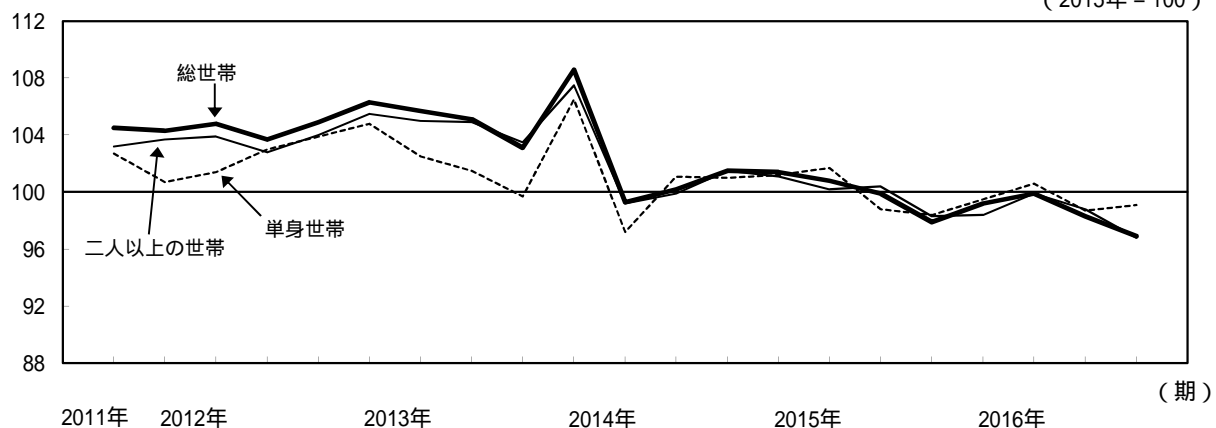
消費支出	2013年	2014年				2015年				2016年			
総世帯	104.8	109.8	100.0	100.2	101.3	101.8	100.6	99.7	97.9	98.8	99.1	97.7	97.1
対前期変化率(%)	-0.9	4.8	-8.9	0.2	1.1	0.5	-1.2	-0.9	-1.8	0.9	0.3	-1.4	-0.6
二人以上の世帯	105.1	109.1	99.4	99.6	101.3	102.3	99.5	100.2	98.0	98.5	98.3	97.8	96.8
対前期変化率(%)	0.2	3.8	-8.9	0.2	1.7	1.0	-2.7	0.7	-2.2	0.5	-0.2	-0.5	-1.0
単身世帯	101.6	108.4	99.2	101.6	100.8	100.4	102.4	98.2	98.9	98.0	101.4	98.8	98.8
対前期変化率(%)	-2.7	6.7	-8.5	2.4	-0.8	-0.4	2.0	-4.1	0.7	-0.9	3.5	-2.6	0.0

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

図4 消費支出（除く住居等）（季節調整済実質指数）の推移

（2015年 = 100）



消費支出(除く住居等)	2013年	2014年				2015年				2016年			
総世帯	103.1	108.6	99.3	100.2	101.5	101.4	100.8	99.9	97.9	99.2	99.9	98.3	96.9
対前期変化率(%)	-1.9	5.3	-8.6	0.9	1.3	-0.1	-0.6	-0.9	-2.0	1.3	0.7	-1.6	-1.4
二人以上の世帯	103.5	107.5	99.2	99.9	101.5	101.1	100.2	100.4	98.3	98.4	99.9	98.8	96.8
対前期変化率(%)	-1.3	3.9	-7.7	0.7	1.6	-0.4	-0.9	0.2	-2.1	0.1	1.5	-1.1	-2.0
単身世帯	99.7	106.5	97.2	101.1	101.0	101.2	101.7	98.8	98.4	99.5	100.6	98.7	99.1
対前期変化率(%)	-1.8	6.8	-8.7	4.0	-0.1	0.2	0.5	-2.9	-0.4	1.1	1.1	-1.9	0.4

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年10～12月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	249,909	-0.4	-0.8	-		6期連続の実質減少
食 料	65,738	-0.4	-3.1	-0.82	<減 少> 外食,野菜・海藻など	3期連続の実質減少
住 居	19,556	-0.8	-1.0	-0.07	<減 少> 設備修繕・維持	4期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	16,264	-2.0	3.7	0.24	<増 加> 電気代,他の光熱など	2期ぶりの実質増加
家具・家事用品	9,127	-1.6	-0.7	-0.02	<減 少> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	3期ぶりの実質減少
被服及び履物	10,078	-3.8	-4.7	-0.20	<減 少> 洋服,履物類など	6期連続の実質減少
保健医療	11,189	-4.1	-5.0	-0.23	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具など	4期ぶりの実質減少
交通・通信	33,236	3.9	5.3	0.68	<増 加> 自動車等関係費,通信	6期ぶりの実質増加
教 育	6,973	0.5	-1.0	-0.03		
教 養 娯 楽	26,307	2.9	2.1	0.21	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	2期連続の実質増加
その他の消費支出	51,442	-2.5	(-2.9)	(-0.60)	<減 少> 交際費,こづかい	14期連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	213,336	-0.6	-1.0	-		6期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<減少項目>

実質寄与度

交際費	[-0.60]	贈与金
外食	[-0.39]	飲酒代,焼肉
野菜・海藻	[-0.24]	トマト,レタス
設備修繕・維持	[-0.23]	外壁・塀等工事費,火災・地震保険料
魚介類	[-0.18]	いか,かに

<増加項目>

自動車等関係費	[0.54]	自動車購入,自動車整備費
通信	[0.26]	移動電話通信料,移動電話
電気代	[0.18]	
調理食品	[0.17]	すし(弁当),調理パン
教養娯楽サービス	[0.17]	インターネット接続料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2016年10～12月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	540,796	-0.8	-1.2	-	5期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	442,435	-1.1	-1.5	-1.25	15期連続の実質減少
定 期 収 入	318,834	-1.5	-1.9	-1.10	6期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	123,600	-0.2	-0.6	-0.15	2期ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	51,287	-0.9	-1.3	-0.13	3期連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	7,132	23.4	22.9	0.24	3期連続の実質増加
非 消 費 支 出	92,161	-2.2	-	-	5期連続の減少
可 処 分 所 得	448,635	-0.5	-0.9	-	5期連続の実質減少
消 費 支 出	274,670	-0.7	-1.1	-	6期連続の実質減少
平均消費性向(%)	61.2	(前年同期) 61.3	(ポイント差) -0.1		

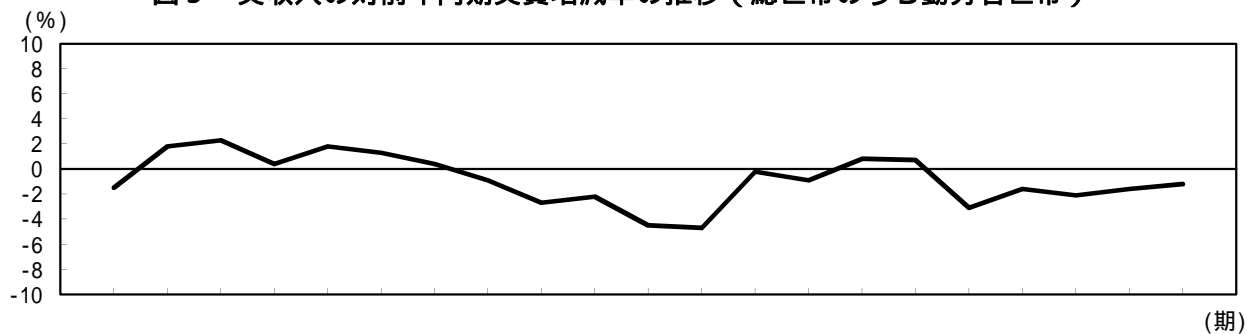
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



	2013年					2014年				2015年				2016年			
実 収 入	-2.7	-2.2	-4.5	-4.7	-0.2	-0.9	0.8	0.7	-3.1	-1.6	-2.1	-1.6	-1.2				

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

<参考> 総世帯，二人以上の世帯，単身世帯別世帯分布(1万分比)

2016年10～12月期

	総数	うち勤労者世帯
総世帯	10,000	4,750
二人以上の世帯	6,759	3,302
単身世帯	3,241	1,447

注 総世帯の結果は、労働力調査の世帯分布をウエイトとして集計。

上記の世帯分布表は、e-Stat掲載の家計調査（総世帯）詳細結果表第4表の結果。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2016年10～12月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	290,432	-0.3	-0.7	-		5期連続の実質減少
食 料	77,095	0.1	-2.6	-0.69	<減 少> 野菜・海藻,魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	19,688	-2.5	-2.7	-0.19	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	4期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	19,169	-2.4	3.3	0.22	<増 加> 電気代,他の光熱	5期ぶりの実質増加
家具・家事用品	10,915	-4.1	-3.2	-0.13	<減 少> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	2期ぶりの実質減少
被服及び履物	11,822	-1.4	-2.3	-0.09	<減 少> 洋服,和服など	11期連続の実質減少
保健医療	12,948	-6.1	-6.9	-0.33	<減 少> 保健医療サービス,医薬品など	4期ぶりの実質減少
交通・通信	39,905	4.0	5.4	0.70	<増 加> 自動車等関係費,通信	6期ぶりの実質増加
教 育	10,317	1.2	-0.3	-0.01	<減 少> 補習教育など	2期連続の実質減少
教養娯楽	28,340	-1.0	-1.8	-0.18	<減 少> 教養娯楽用品,書籍・他の印刷物など	5期連続の実質減少
その他の消費支出	60,234	0.2	(-0.2)	(-0.03)	<減 少> 交際費,こづかい	14期連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	250,070	-0.8	-1.2	-		5期連続の実質減少

： 「住居」のほか，「自動車等購入」，「贈与金」，「仕送り金」を除いている。また，実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は，消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は，消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-0.36]	贈与金
保健医療サービス	[-0.28]	歯科診療代，他の入院料*
野菜・海藻	[-0.23]	トマト，レタス
魚介類	[-0.19]	いか，かに
教養娯楽用品	[-0.15]	スポーツ用品，切り花
外食	[-0.12]	飲酒代

< 増加項目 >

自動車等関係費	[0.52]	自動車購入，自動車整備費
通信	[0.26]	移動電話通信料，移動電話
諸雑費	[0.25]	装身具，保育費用
電気代	[0.16]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは，「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2016年10～12月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

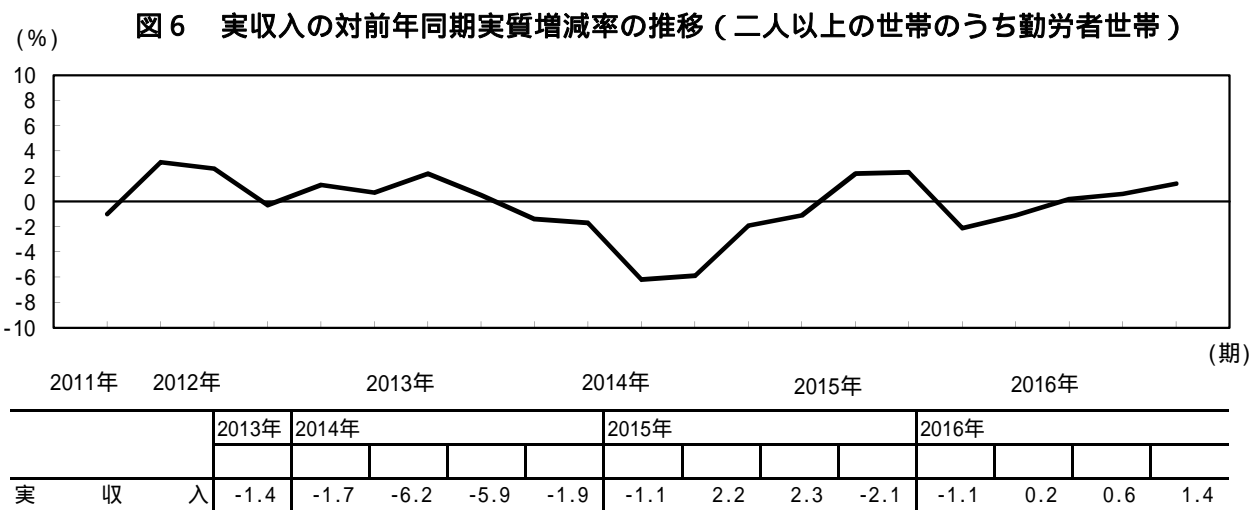
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	614,387	1.8	1.4	-	3期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	480,918	1.4	1.0	0.76	3期連続の実質増加
定 期 収 入	348,269	0.6	0.2	0.10	3期連続の実質増加
臨 時 収 入・賞 与	132,648	3.5	3.1	0.65	4期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	73,880	2.0	1.6	0.19	2期ぶりの実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	10,273	27.1	26.6	0.36	3期連続の実質増加
非 消 費 支 出	105,592	2.2	-	-	5期ぶりの増加
可 処 分 所 得	508,796	1.7	1.3	-	3期連続の実質増加
消 費 支 出	316,305	0.4	0.0	-	
平 均 消 費 性 向(%)	62.2	(前年同期) 62.9	(ポイント差) -0.7		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



． 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2016年10～12月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	165,412	0.3	-0.1	-		2期ぶりの実質減少
食 料	42,059	-1.1	-3.8	-0.98	<減 少> 外食,野菜・海藻など	5期連続の実質減少
住 居	19,281	3.4	3.2	0.36	<増 加> 家賃地代	6期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	10,207	0.8	6.7	0.41	<増 加> 電気代,ガス代など	3期連続の実質増加
家具・家事用品	5,397	13.1	14.1	0.41	<増 加> 寝具類,家庭用耐久財など	4期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	6,440	-11.4	-12.2	-0.54	<減 少> 洋服,履物類など	6期連続の実質減少
保 健 医 療	7,521	5.3	4.4	0.19	<増 加> 保健医療サービス,医薬品	3期ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	19,329	5.6	7.0	0.77	<増 加> 自動車等関係費,通信	4期連続の実質増加
教 育	0	-	-	-		
教 養 娛 楽	22,067	15.9	15.0	1.73	<増 加> 教養娯楽用品,教養娯楽サービス	4期連続の実質増加
その他の消費支出	33,111	-10.7	(-11.1)	(-2.49)	<減 少> 交際費,仕送り金など	4期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等)	136,742	1.2	0.8	-		6期ぶりの実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-1.43]	贈与金
外食	[-1.38]	飲酒代,焼肉
設備修繕・維持	[-0.76]	設備器具,給排水関係工事費
諸雑費	[-0.51]	祭具・墓石,信仰・祭祀費
交通	[-0.29]	鉄道運賃,鉄道定期代
洋服	[-0.25]	婦人服,婦人用コート

< 増加項目 >

教養娯楽用品	[0.94]	玩具,他の愛玩動物・同用品*
教養娯楽サービス	[0.91]	外国パック旅行費,インターネット接続料
自動車等関係費	[0.74]	自動車購入,自転車購入
調理食品	[0.48]	天ぷら・フライ,そうざい材料セット
通信	[0.33]	移動電話通信料,移動電話

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

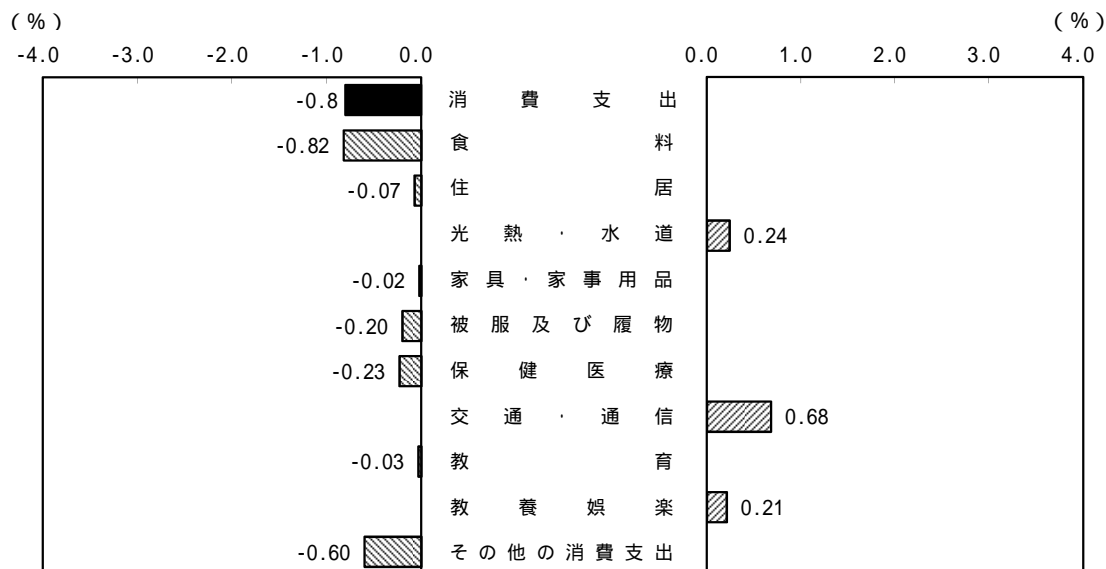
2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の愛玩動物・同用品」とは、「ペットフード」に分類されない愛玩動物及びそれらに関する用具をいう。

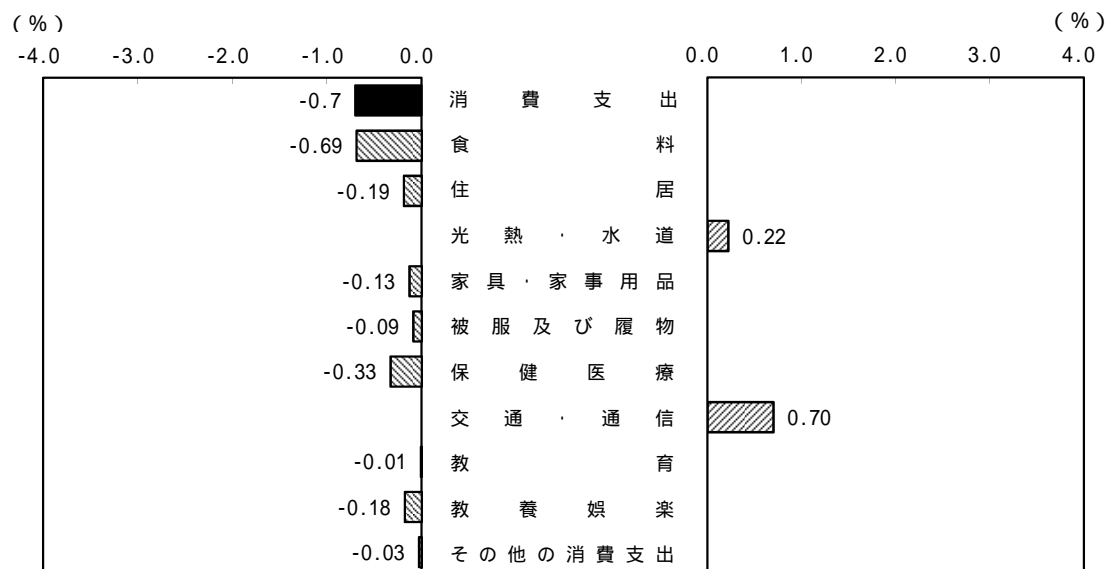
< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2016年10～12月期）

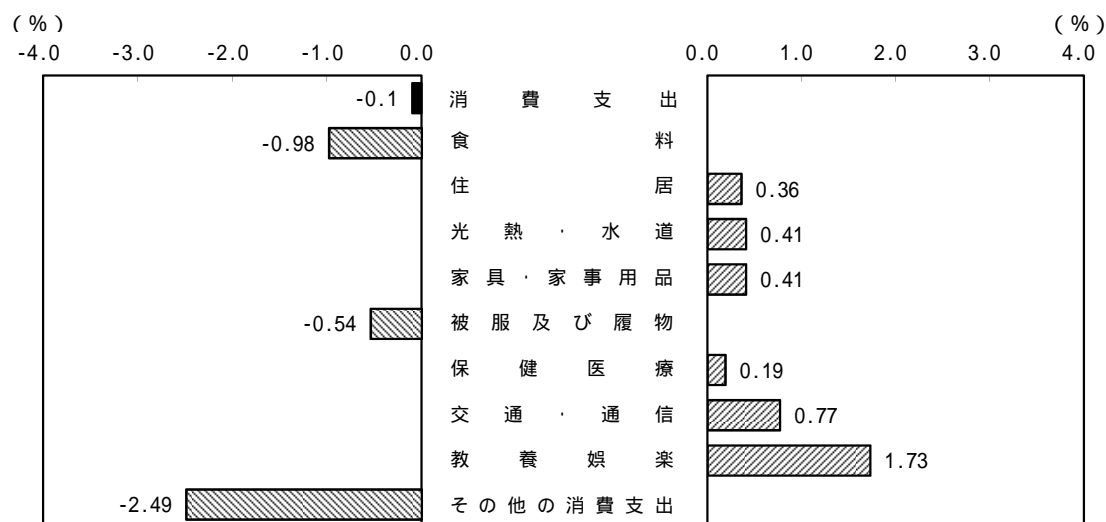
（１）総世帯



（２）二人以上の世帯



（３）単身世帯



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。